

27年センター試験志願者数は、 前年よりやや減少の55.9万人前後に！ —現役生は、前年を上回る45.5万人前後に—

旺文社 教育情報センター 26年10月21日

- 27年センター試験の志願者数は、26年10月9日の出願受付最終日・17時現在、前年同時期に比べ2万730人(3.9%)少ない50万8,561人であった。
大学入試センターは10月16日、「消印有効」(10月9日まで)分を含めた以下のような出願状況を改めて発表した。

●出願総数	559,156人(① 508,561人 / ② 560,672人 : 0.3%減)
<内訳>	
○高等学校等卒業見込者 (高等学校等経由出願)	455,382人(① 424,449人 / ② 443,318人 : 2.7%増)
○高等学校卒業者等 (個人直接出願)	103,774人(① 84,112人 / ② 117,354人 : 11.6%減)

(注) 1. ()内は、①=出願締切日(26年10月9日17時現在)の志願者数/②=前年の「確定」志願者数、及び16日「発表値」(「消印有効」分含む)の対「確定値」との増減割合を示す。
2. 重複出願等の確認、試験場の指定等を行った後、確定志願者数等の統計資料や試験場一覧が発表される(11月末予定)

- 27年3月の高等学校卒業者数は、今春に比べ約1万7,000人、1.6%増の約106万8,000人と推測される。
そうした中、10月9日の出願締め切り時点では、志願者数が前年より4%近く減少し、特に現役生は前年より4,400人余り、1%減少した。
- このほど発表された「消印有効」分を含む10月16日の出願状況をみると、出願総数は「出願締切日」より5万595人(9.9%)増え、55万9,156人に達している。
この志願者数は、前年の「確定値」より1,516人(0.3%)少ない。
- 現役生は「出願締切日」時点の減少から一転し、前年の「確定値」より1万2,064人(2.7%)増の45万5,382人で、今後重複出願等を除いても前年を上回るとみられる。

- 現役生の「消印有効」分が約3万1,000人(締切日の出願者数に対し7.3%)もの多数に達した背景には、新課程センター試験「理科」の選択解答方法が複雑・多様化したことなどで、出願時に理科の選択パターンを「事前登録」するに当たり、高校経由(現役生)の出願に際して教員も慎重になり、出願取りまとめに時間がかかったことなどあろう。
- 一方、既卒者は前年の「確定値」に比べ、1万3,580人(11.6%)減の10万3,774人で、前年の増加から一転し、2年ぶりの大幅な減少になりそうだ。

既卒者の志願者が減少した背景としては、新課程を控えた今春の入試において、“後がない意識”から安全志向、慎重出願が強くはたらき、浪人回避の動きが例年以上に高まったことなどが挙げられる。

